R C C による健全銀行の不良債権買取り業務 (金融再生法)

不良債権買取リスキーム(金融再生法第53条)

内閣総理大臣の承認

→

預金保険機構
(金融再生勘定)

→

平成13年度:10兆円
平成14年度政府案概算決定額
:12兆円
金融機関等

買取りの申込み (平成16年3月31日まで)

> 前通常国会で、議員立法 により、3年間延長

(不良債権の回収)

整理回収機構(RCC)

不良債権の買取り

買取委託(協定締結)

資金の貸付け 等

健全銀行

(不良債権のオフバランス化)

金融再生法の改正の概要 (与党3党による議員提案)

- 1 買取価格を時価とする価格決定方式の弾力化
- 2 入札への参加を可能とする買取方法の多様化
- 3 預金保険機構とRCCとの協定に、買い取った不良債権の処理に関する規定を新設。具体的には、

処分方法の多様化

資産の性質に応じ、経済情勢、債務者の状況等を考慮 し、当該資産の買取りから可能な限り3年を目途として 回収又は譲渡その他の処分を行なうよう努めること。 債務者の再生の可能性を早期に見極め、その可能性の ある債務者については速やかな再生に努めること。

不良債権処理におけるRCCの役割

